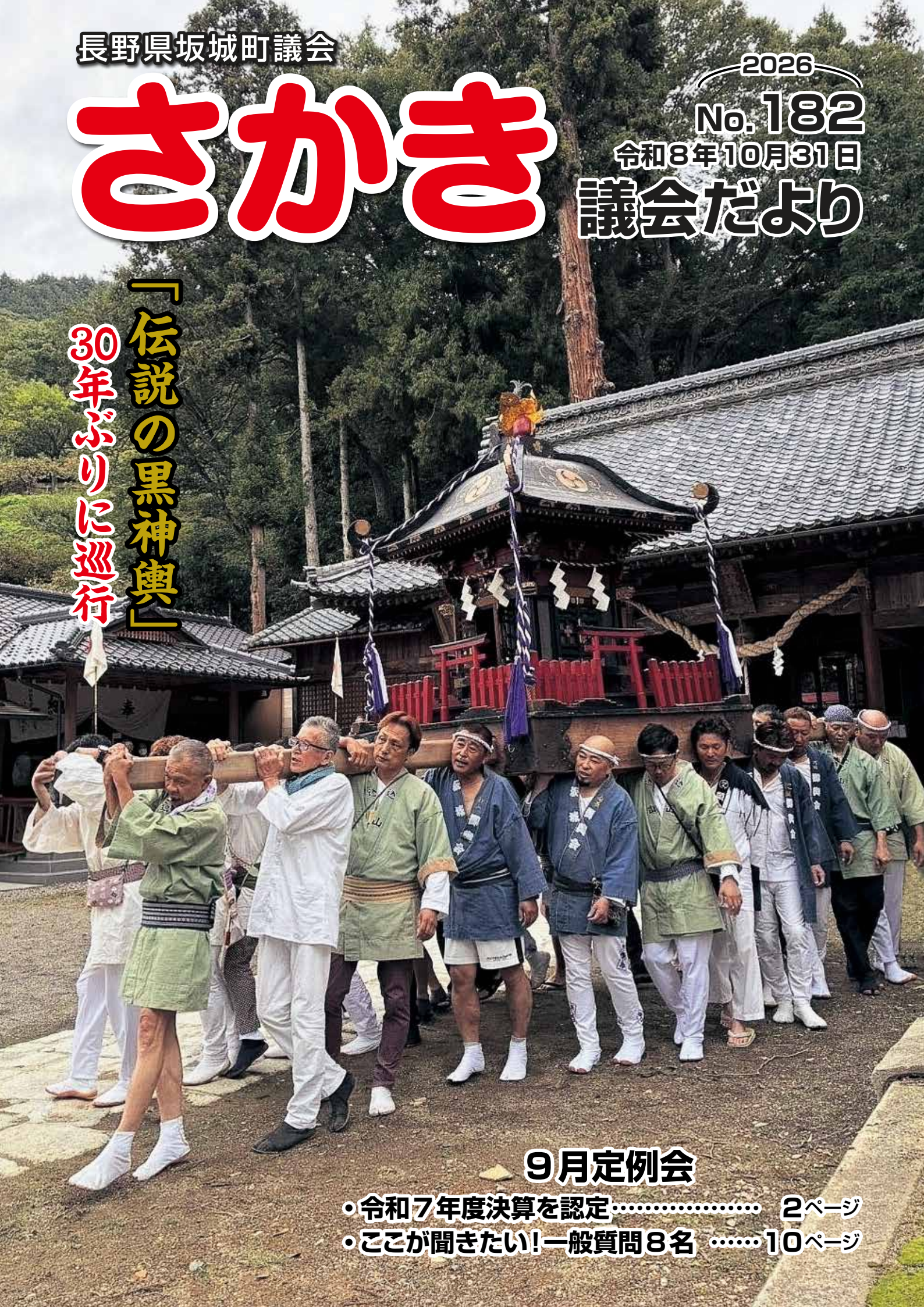
長野県坂城町議会

さかき

2026
No.182
令和8年10月31日
議会だより



「伝説の黒神輿」30年ぶりに巡行

9月定例会

・令和7年度決算を認定…… 2ページ
・ここが聞きたい！一般質問8名 ……10ページ

万円を認定！

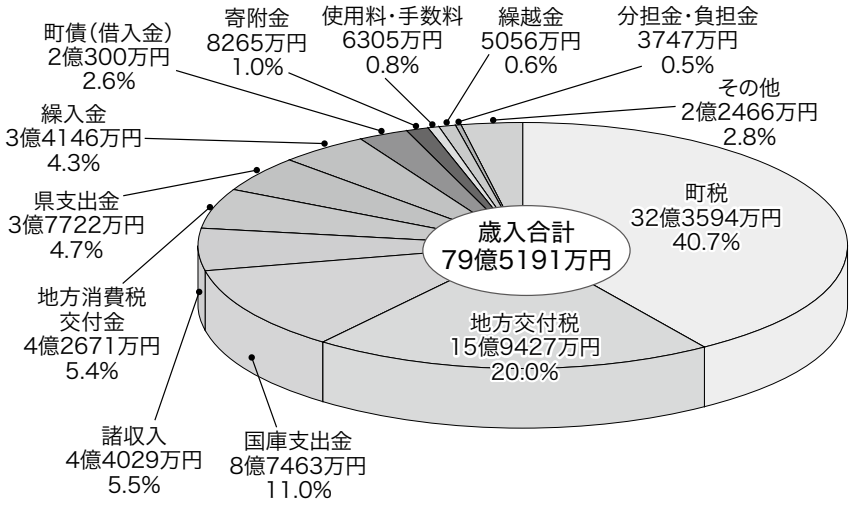
前年度比4.3%減
ジタル化事業等を実施～

第3回定例会（9月）
決算議会

令和8年第3回定例会は、8月31日から9月17日までの18日間の会期で開催しました。議案の主なものは、令和7年度の一般会計及び各特別会計・公営企業会計決算の認定、令和8～9年度新複合施設建設（第1期）工事請負契約の締結、人権擁護委員、教育委員会委員、固定資産評価審査委員会委員及び千曲市・坂城町等公平委員会委員の人事案件、条例の一部改正のほか、町から提出された令和8年度一般会計及び特別会計補正予算など原案のとおり可決しました。

一般質問では、8人の議員が登壇し町政をただしました。

歳入

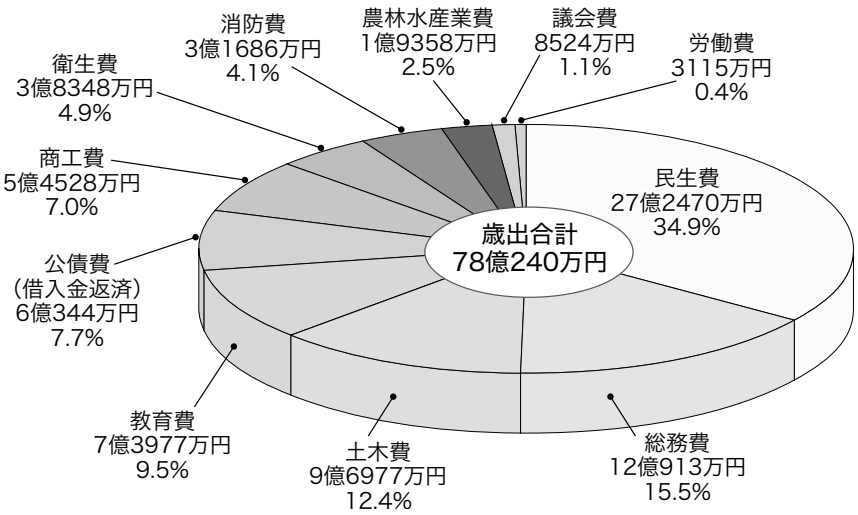


歳入のうち、**町税**は法人町民税の増収等により、前年度と比較しプラス4・7%、約1億4500万円の増額となった。また、**地方特例交付金**は、国の定額減税による減収分が補填対象が減少したことから、約6800万円の減額となった。**地方交付税**は、普通交付税の算定基礎となる基準財政収入額が前年より増額算定となり交付額は増額、プラス8・1%、約1億1800万円の増額となった。**国庫支出金**は、A01号線道路改良事業等に係る社会資本整備総合交付金の増額等により、約1億4700万円の増額となった。

一般会計

歳入総額	79億5190万8170円
歳出総額	78億 240万4134円
差引額※	1億4950万4036円

歳出



歳出は、保健センターと老人福祉センターを複合化し幅広い世代が集う、健康・福祉・子育て等の新たな拠点となる複合施設建設事業において、6年度に策定した「基本設計」をもとに「実施設計」を進めた。

ハード事業では、A01号線通学路改修に約2億1600万円、昭和橋等橋梁修繕事業に約5400万円、坂城小学校への災害用マンホールトイレ等設置工事約2100万円、温泉施設維持補修工事に約1400万円などを支出した。

デジタル化事業では、貸し出しを行う公共施設にスマートロックシステムの導入や、さかきモノづくり展、ONSEN・ガストロノミー事業への支援を実施した。

歳出総額78億240

令和7年度 一般会計決算 歳出

～複合施設建設事業「実施設計」着手、デ

特別会計

会計名	歳入	対前年度増減率	歳出	対前年度増減率
国民健康保険	12億 717万円	△ 1.9%	12億 187万円	△ 1.8%
介護保険	14億1922万円	4.4%	14億1688万円	4.3%
後期高齢者医療	3億 676万円	7.4%	3億 676万円	7.5%
合計	29億3315万円	2.0%	29億2551万円	2.0%

※ 差引額
　各会計の差引額は、決算剰余金として翌年度へ繰り越すほか、一部基金に積み立てる。

（国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療）

歳入総額　29億3314万7988円

歳出総額　29億2550万9589円

差引額※　763万8399円

公営企業会計

下水道事業会計	収入決算額	支出決算額	収支差額
収益的収支	6億 209万円	5億4070万円	6140万円
資本的収支	1億 8760万円	4億4982万円	△ 2億6222万円

※資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額2億6,222万円は、当年度分消費税資本的収支調整額及び損益勘定留保資金等で補填。

下水道事業会計

主な整備は、葛尾組合及び坂城インター工業団地周辺の管路布設工事や坂城更埴バイパス関連で既設下水道管路の移設工事を実施し、7年度末の整備面積は580.6 ha、下水道整備率の進捗率は96.6％となった。



決算審査報告

監査委員　春日英次
　　大森茂彦

7年度一般会計、特別会計、公営企業会計及び財政援助団体（坂城町文化協会・坂城町スポーツ協会）の決算審査を、7月21日から7月29日まで実施した。財政健全化判断比率の審査を8月17日に行った。

審査結果

審査に付された各会計歳入歳出決算及び附属書類は、いずれも関係法令の定める様式に従って作成されており、決算の計数は諸帳簿と符合して正確であることを認めた。

また、財政健全化判断比率及び算定書類は、いずれも関係法令の定める様式に従って作成されており、比率の計数は算定書類と符合して正確であることを認めた。

委員会審査

一般会計

総務産業・社会文教常任委員会では、７年度一般会計決算の各項目について、９月10日、11日の２日間で、所管による関係資料をもとに慎重かつ詳細に審査を実施しました。

その内容について、両委員長から審査報告があり、主な内容は以下のとおりとなりました。

総務産業常任委員会
公共施設スマートロックシステム導入

委員長　玉川清史（たまがわきよふみ）

歳入

問 法人町民税が、前年比増加している理由は。

答 町内企業の業績が好調だったことによる増加である。

問 長野県地方税滞納整理機構への移管件数は。

答 滞納整理機構への移管件数は12件である。

問 財政力指数と、長野県内での順位は。

答 指数は０・６４６であり、県内で上から５番目、町村では２番目である。

歳出

総務課

問 町職員定数条例に対する現状の職員数は。

答 町条例の定数は１６６名で、令和８年４月１日現在の職員数は１３３名である。

企画政策課

問 公共施設スマートロックシステムを導入した施設数は。

答 各小中学校体育館に導入したほか、びんぐしの里公園や町体育館など10施設である。

問 ふるさと納税の今後の対策は。

答 他自治体との差別化、品質向上、ブランド化を図り、少量パックや価格帯の見直し、商工会等を通じ新たな返礼品の開拓、様々な機会や媒体を活用して周知等の強化に取り組む。

問 複合施設の実施設計に反映された町民要望の主なものは。

答 地元住民説明会等で寄せられた「施設東側の道路（幅員約４ｍ）を約５ｍ程度に拡幅してほしい」との町民要望を受け、実施設計に反映した。

商工農林課

問 千曲川の中州に生息しているシカなどへの対策は。

答 オリやワナによる駆除対策を行いつつ、千曲川流域市町村連携による対策や、千曲川河川事務所に有害獣の住処となる河川敷内のアカシアの伐採などを要請していく。

問 観光振興イベント補助金の内容は。

答 ステキさかき観光協会が企画運営した「ＯＮＳＥＮガストロノミーウォーキングin信州さかき」に対して補助を行った。日本全国各地から１３５名が参加し、約９キロのコースを歩き町の魅力を体感していただいた。

問 鉄の展示館の入館者数と、情報発信への取り組みは。

答 ７年度の入館者数は、６９４６名である。ホームページのリニューアルを行い、観光協会やまちづくり坂城と連携しＳＮＳでの情報発信にも努めている。

建設課

問 水道事業広域化協議会の活動状況は。

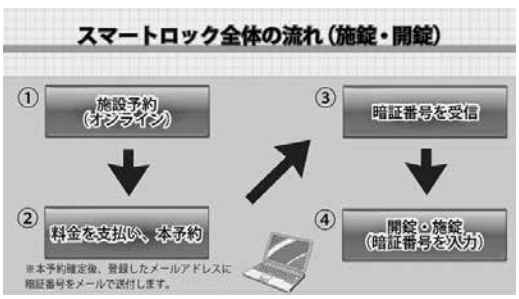
答 ７年度の基本計画の合意・決定後、各団体の住民・議会の理解を得るため、加えて事業統廃合の判断に必要となる「重要協議事項の協議・調整」及び「事業計画（案）」の策定を実施している。

問 空き家バンクで成約となった物件のうち、町外からの転入者の利用は。

答 ７年度の空き家バンク成約物件10件のうち、町外からの転入者の利用は３件であった。

問 デマンド交通乗合タクシーの利用状況は。

答 ７年度末の登録者数は４５６名、年間の利用者数は延べ５０５７名であり、月平均４２１名、１日平均20名の利用があった。



※スマートロックシステムとは、
電子錠により施解錠できるシステムです。

社会文教常任委員会

教育DX推進事業 タブレット端末更新

委員長　山城峻一（やましろしゅんいち）

住民環境課

問　防犯灯の設置台数と、種類別の内訳は。

答　7年度末現在の防犯灯設置台数は、町管理分が766基、区管理分が880基で合計1646基である。種類別では、蛍光灯が1151基、白熱灯が159基、水銀灯が73基、LED灯が263基である。

問　マイナンバーカードの取得状況は。

答　保有率は79・3％である。

問　不法投棄ごみ撤去事業の、把握している不法投棄箇所について警察への報告状況は。

答　行為者が特定できそうな場合や、不法投棄が続くような場所については警察へ情報提供を行い、警察と連名での看板設置も実施している。

問　消防防災航空隊負担金の算出根拠は。

答　前年度の基準財政需要額割が5割22万4450円、人口割が5割21万3600円である。

福祉健康課

問　民生委員のなり手不足への施策は。

答　活動に係る負担を軽減するほか、各区からの推薦以外による候補者選出方法についても検討が必要である。

問　結婚新生活支援補助金の申請件数と補助金額は。

答　7年度の申請は8件で、補助金額の上限額は夫婦ともに39歳以下の場合は30万円、29歳以下の場合は60万円である。

問　医療機関等物価高騰対策支援金の内容と対象施設は。

答　物価高騰対策として、光熱費や食料品等価格高騰による負担が増大する中、町内の医療機関、薬局、施術所、助産所の22事業者に対し支援金を支給した。

問　歯周疾患検診、その他各種検診について、受診率向上のための取り組みは。

答　歯周病予防の重要性について、保健補導員を対象に講演会を開催し、その理解と周知に努めている。各種検診の未受診者に対しては、毎年12月と2月に勧奨通知を出し受診を促している。

教育文化課

問　保育園園舎施設工事費の内容は。

答　坂城保育園は、園舎廊下の雨漏り対策工事、南条保育園は、リズム室の照明LED化改修工事、村上保育園は、リズム室の照明LED化改修工事や保育室石油暖房機更新工事、正門門扉（もんぴ）改修工事などを実施した。

問　イングリッシュデイの取り組み内容は。

答　以前は「国際交流村」という名称で和平において実施し、歴史としては長い事業である。7年度は、町体育館において、外国人講師等とのレクリエーションを通して、外国の文化や言葉の理解とコミュニケーション能力の育成を図った。

問　教育DX推進事業のタブレット端末整備状況は。

答　7年度にタブレット端末の更新を行った。更新にかかる対象経費のうち3分の2が国の補助対象であり、予備機についても15％まで整備できるため、全児童生徒分に加え予備機も用意した。

問　坂木宿ふるさと歴史館で実施した企画展「戦争とさかき」の反応は。

答　7年度は戦後80年であり特別企画展を実施し、展示期間の来館者数は334名で好評であった。

問　青少年育成一般経費の駅前啓発活動の内容は。

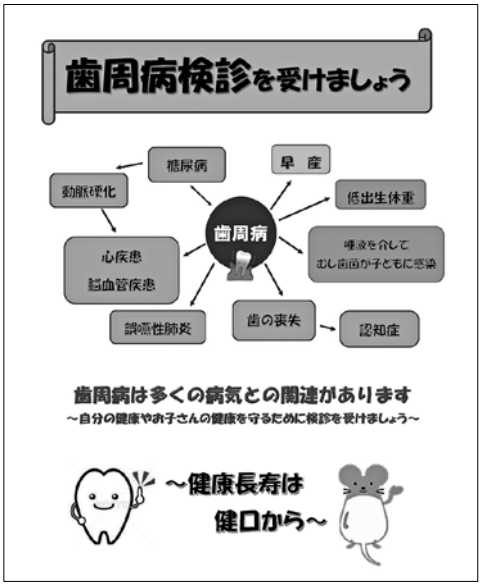
答　地元坂城高校生徒会と一緒に、坂城駅前にて7月と11月に啓発活動を実施した。

問　町体育館の使用回数が昨年度から増加している理由は。

答　町体育館に冷暖房設備が整備されたことによるものと考える。

問　給食に使用する野菜の調達について、地域食材の使用率は。

答　長野県産の割合は18・3％、うち坂城町産は14・1％である。



健康は健口から
～歯周病は、全身の病気に関連します～

委員会審査

公営企業会計

特別会計

各常任委員会では、付託された７年度の３特別会計及び公営企業会計について、慎重かつ詳細に審査を実施しました。その内容について、両委員長から審査報告があり、主な内容は以下のとおりとなりました。

国民健康保険

社会文教常任委員長　山城峻一（やましろしゅんいち）

1人あたり医療費　41万8121円（速報値）

問　不納欠損の人数は。

答　医療給付費分は7名、後期高齢者支援金分は6名、介護納付金分は2名である。

問　滞納繰越分収入未済額の人数は。

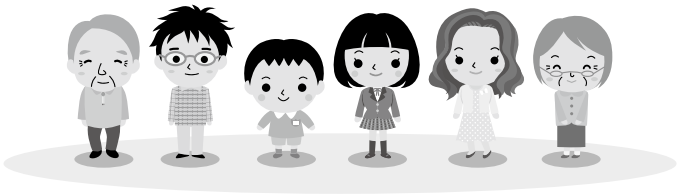
答　医療給付費分は144名、後期高齢者支援金分は140名、介護給付費分は79名である。

問　1人あたり医療費の金額と県内順位は。

答　7年度の、1人あたり医療費は41万8121円で、高い方から40番目である。（速報値）

問　高額療養費の近年の状況は。

答　7年度は2039件と6年度より95件増加した。金額は1億172万5224円であり、前年度と比較し0・5％減少している。



介護保険

社会文教常任委員長　山城峻一

主治医意見書作成料件数　742件

問　滞納繰越分普通徴収保険料の収入未済額の人数は。

答　48名である。

問　主治医意見書作成料の件数は。

答　介護認定に必要な主治医意見書の作成を医療機関に依頼するもので、7年度は742件であった。

問　居宅介護住宅改修費の内容は。

答　要介護認定者が在宅での生活を継続できるよう、手すりの取り付けや段差解消、引き戸への変更など、自宅を改修した場合の給付費で、上限額は20万円である。

問　住宅改修の現状は。

答　6年度と比較して10件、給付額は79万5760円の増加であった。



「高齢者福祉・介護保険サービスガイド」
QR コードからご覧になれます。

後期高齢者医療

社会文教常任委員長　山城峻一

7年度末 被保険者数 3260人

問 後期高齢者医療広域連合納付金の内容と増額理由は。

答 町が徴収した保険料を広域連合に納付するもので、増額は被保険者数の増加によるものである。

問 被保険者数の推移は。

答 6年度末は3229人、7年度末は3260人で、31人の増加となった。

下水道事業会計

総務産業常任委員長　玉川清史（たまがわきよふみ）

下水道整備面積580.6ha 水洗化率72.0%

問 工事進捗状況について、整備済の面積は。

答 整備済面積は、580.6haである。

問 人口に占める接続割合は。

答 7年度末で接続割合は、水洗化率72.0%である。

問 耐震化の状況は。

答 町内全体では57%であり、うち重要路線は71%が耐震性能を有している。

一般会計と特別会計の違いは？

一般会計は、地方公共団体において町民のサービスの提供を始めとする行政運営の基本的な経費（福祉・教育・土木など）を計上している会計です。

一方で**特別会計**は、事業目的を限定し、特定の収入をもって特定の支出に充てるため、一般会計と区別して経理する必要がある場合に設けられる会計です。

坂城町では令和7年度に、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療の3会計がありました。

公営企業会計は？

公営企業会計は、事業収入を主な財源として、独立採算の原則により特定の事業を経理する会計です。複式簿記を採用し企業活動を正確に把握できます。

下水道事業会計には2つの財布があり、使用料収入や施設の維持管理費などに係る財布を収益的収支、下水道施設の整備や改修などに係る財布を資本的収支として区分しています。

表紙の写真



今号の表紙は、去る9月27日に坂城神社秋季例祭で行われた神輿（みこし）の巡行。

この神輿は1884（明治17）年に製作され、100年以上の歴史を持つ。外観に黒漆を施したため「黒神輿」と呼ばれる。

また「百貫神輿（ひゃっかん）」とも呼ばれ、重さは約1トン。

神輿の担ぎ棒は通常縦横に配されるが、この神輿は横棒が無い構造となり、非常に希少性の高いものである。当時の担ぎ手を想うと祭りの熱気が甦（よみがえ）るようである。

今回の巡行後、再び神社に奉納されてしまったが、歴史的産物として是非多くの人の目に留まる所に展示出来ればと思う。

（文：大日向（おびなた）　進也（しんや））

議会日誌（主な活動）

7月

1·8·15日　広報発行対策特別委員会
2日　新国道上田篠ノ井間建設促進期成同盟会総会
3·17日　議会運営委員会
9～10日　上田地域広域連合行政視察（管外施設視察）
13日　県道上室賀坂城停車場線改良促進期成同盟会総会
　　町村議会議員研修会
16日　議会全員協議会/千曲衛生施設組合議会臨時会
22日　上田地域広域連合行政視察（管内施設視察）
21·23·24·27·28·29日　決算審査
27日　町例月現金出納検査
30日　総務産業常任委員会閉会中の調査

8月

5日　社会文教常任委員会閉会中の調査
15日　町二十歳のつどい
19日　長野県社会保障推進協議会陳情
　　新国道上田篠ノ井間建設促進期成同盟会要望活動
20日　議会全員協議会/社会文教常任委員会
　　千曲坂城消防組合議会臨時会
21日　六ケ郷用水組合議会臨時会
24日　国道バイパス·県道整備促進期成同盟会総会
25日　議会運営委員会
27日　決算審査監査報告受領/町例月現金出納検査
　　町商工業振興審議会/葛尾組合議会臨時会
28日　全国町村議会広報研修会
30日　町総合防災訓練
31日　9月議会定例会（～9/17）
　　社会文教常任委員会
　　広報発行対策特別委員会

9月

10·11日　総務産業·社会文教常任委員会
16·24日　広報発行対策特別委員会
17日　議会運営委員会/社会文教常任委員会
25日　長野県町村議会議長会全体研修会
　　議会運営委員会
28日　町例月現金出納検査
　　上田地域広域連合議会代表者会

第3回定例会 議案審議

契約の承認

◆令和8～9年度 新複合施設建設（第1期）工事請負契約の締結

老朽化した保健センター及び老人福祉センターの施設統合に加え、子育て支援センターと図書館の一部機能などを含めた施設の整備のため、新複合施設建設（第1期）工事を施工する請負契約で、建築工事及び電気・機械等の設備工事などの本体工事を行う。

契約金額は27億600万円、請負者は守谷・冨士特定建設工事共同企業体。工期は令和10年2月29日までとする。

問 工事請負契約の締結に係る入札の経過状況は。

答 8月24日に共同企業体4社が参加し入札を実施、1回目の入札では全ての共同企業体が応札したが、予定価格を上回り、再度入札を行った。

3社が辞退し1社が応札したが、再び予定価格を上回り、関係法令等に基づき、その共同企業体との随意契約に移行し、見積りを徴取したところ予定価格に達し、仮契約を締結した。

条例改正

◆坂城町福祉医療費給付金条例の一部改正

社会保険診療報酬支払基金法の改正により、「社会保険診療報酬支払基金」を「医療情報基盤・診療報酬審査支払機構」に名称変更するもの。







新複合施設建設（第１期）工事起工式

令和８年度 一般会計補正予算（主なもの）

◆第２号補正額（専決）	**1,602万円**
歳出	
○法人町民税の税償還金・還付加算金	1,600万円
◆第３号補正額	**1億158万円**
歳入	
○地方交付税	1億6,535万円
○国庫支出金	3,424万円
○前年度繰越金	1,201万円
○町債	170万円
○基金等繰入金	▲1億1,399万円
歳出	
○温泉施設持続化負担金	1,300万円
○減災基金積立金	5,529万円
○税償還金・還付加算金	300万円
○社会福祉施設等物価高騰対策支援金	484万円
○土地改良区水槽改修事業補助金	342万円
○農道等維持工事費	260万円
○保証料補給金	500万円
○ＢＩプラザ屋根修繕工事費	1,300万円
○渇水対策設備工事費	438万円
◆第４号補正額	**719万円**
歳出	
○農産物加工施設管理費	704万円

人事（敬称略）

■人権擁護委員（任期3年）
三井（みつい） 有奈（ありな）（南 条）新任

■教育委員会委員（任期4年）
林（はやし） 信一（しんいち）（四ッ屋）再任

■固定資産評価審査委員会委員（任期3年）
北澤（きたざわ） 一憲（かずのり）（上五明）新任

■千曲市・坂城町等公平委員会委員（任期4年）
中村（なかむら）トモエ（千曲市）再任



第３回定例会（９月）の審議結果

1 全会一致で可決された議案

(1) 専決処分
① 令和８年度一般会計補正予算（第２号）
② 和解及び損害賠償額の決定

(2) 人事
① 人権擁護委員の推薦
② 坂城町教育委員会委員の任命
③ 坂城町固定資産評価審査委員会委員の選任
④ 千曲市・坂城町等公平委員会委員の選任

(3) 条例
① 昭和天皇の崩御（ほうぎょ）に伴う職員の懲戒免除及び職員の賠償責任に基づく債務の免除に関する条例の一部改正
② 坂城町福祉医療費給付金条例の一部改正
③ 坂城町下水道事業の設置等に関する条例の一部改正

(4) 令和７年度歳入歳出決算の認定
① 一般会計
② 介護保険特別会計
③ 後期高齢者医療特別会計
④ 下水道事業会計

(5) 令和８年度予算
① 一般会計補正予算（第３号）（第４号）
② 国民健康保険特別会計補正予算（第１号）
③ 介護保険特別会計補正予算（第２号）

2 賛否が分かれた議案

（○は賛成、×は反対）

（議案名） ＼ （議員氏名）		結果	大日向進也	塚田舞	水出康成	宮入健誠	中村忠靖	星哲夫	玉川清史	山城峻一	祢津明子	朝倉国勝	滝沢幸映	大森茂彦	中嶋登
契約	令和８～９年度新複合施設建設（第１期）工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	欠席	○	×	議長職
令和７年度歳入歳出決算の認定	国民健康保険特別会計	可決	○	○	○	○ 賛成討論	○	○	×	○	○	○	○	× 反対討論	
陳情	消炎鎮痛剤や抗アレルギー薬など、薬の追加負担を行わないことを求める陳情書	不採択	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	

3 全会一致で否決された議案……なし

4 陳情審査結果

	件名	提出者	付託常任委員会及び委員会審査結果	本会議における議決結果
陳情	消炎鎮痛剤や抗アレルギー薬など、薬の追加負担を行わないことを求める陳情書	長野県社会保障推進協議会 代表委員　宮沢　裕夫　佐野　達夫 細尾　俊彦　小林　吟子 松丸　道男　北沢　忠	社会文教 不採択	不採択

議会を傍聴しませんか

事前の申し込みは不要です。
当日議場（役場４階）へお越しください。

会議録は町のホームページまたは
下のQRコードからご覧になれます。



坂城町議会　検索

次の定例会は、12月初旬開会の予定です。

ここが聞きたい！
一般質問

（一般質問の文章は、質問者の責任で作成しています）

有害獣対策

ＳＧＨＣへの加入は

加入に向け検討していく



祢津　明子　議員

問　坂城町猟友会では狩猟免許を所持している会員は何名か。また町職員で所持している人数は。

商工農林課長　昨年度末の町猟友会員の所持状況は、第一種銃猟免許所持者14名、ワナ猟所持者は13名、両方を所持している会員は6名である。

　町職員の所持者は2名で、両職員とも第一種銃猟免許及びワナ猟の免許を所持している。

問　ガバメントハンターに対する町の考えは。

商工農林課長　商工農林課に狩猟免許と銃所持許可を保有している職員がいるが、有害獣駆除に専従できる状況ではない。

　今後は、専従できる人材を確保していくことが望ましいと考えており、会計年度任用職員制度の活用や広域連携など、体制の検討を進めていく。

問　信州ガバメントハンター協議会（ＳＧＨＣ）への加入の考えは。

商工農林課長　今年3月に、小諸市と大町市の鳥獣対策担当者が発起人となり、市町村の枠を超えた現場担当者のネットワークの場として協議会が設立された。

　現在、県内の15市町村が加入しており、有害鳥獣対策を行ううえで、市町村担当者による情報共有は非常に重要である。今後、協議会への加入に向けて検討していきたい。



質問項目

祢津　明子　議員 10ページ
① 体験格差について
② 有害獣対策の強化について
③ マイナアプリについて

大森　茂彦　議員 11ページ
①「2050年ゼロカーボン宣言」は
② 危機管理部署の設置を
③ 児童生徒の学習権の保障を
④ 坂城町の農業はどうなる

宮入　健誠　議員 11ページ
① 移住定住について
② 安全・安心なまちづくりの推進について

玉川　清史　議員 12ページ
① 町道Ａ01号線について
② 森林をもっと身近に

中村　忠靖　議員 12ページ
① 大規模災害時の体制について
② 夏休み明けの子どもたちの支援について

山城　峻一　議員 13ページ
① さかきコネクトの情報発信について

水出　康成　議員 13ページ
① 脱炭素社会について
② 地域防災について

朝倉　国勝　議員 14ページ
① 農業振興について
② 有害鳥獣対策について

気候危機

区域施策編の策定は

準備を進める予定



大森（おおもり） 茂彦（しげひこ） 議員

問　最近の温暖化に対する世論調査で、温暖化対策のＣＯＰ21（国際枠組み）で採択された「パリ協定に期待する」が58％、前回調査の66％から低下、「日本も温暖化対策を着実に進めるべきだ」と答えた人は89％と多くを占めたと報道。

　昨年の一般質問で、町の温暖化対策の区域施策編の策定が遅れているとの質問に、町長は「検討していく」と答弁。どんな手順で策定していくのか。

町長　区域施策編は、国の地球温暖化対策の推進に関する法律で、区域全域の事業者・住民等の取組も含めた温室効果ガスの排出抑制等を行うための計画である。町でも策定に向けた準備を進める予定としている。

　策定の進め方は、人口、産業、住宅、交通、再生可能エネルギーの導入可能性等地域特性を把握し、温室効果ガス排出量を部門別に推計し、現状と課題を整理していくのが基本となる。基礎調査の結果を踏まえ、町の将来像や基準年度、目標年度、削減目標、進捗管理指標などを検討していく。策定には専門性が高く、有識者や専門家の助言・指導を必要とし、事業者・住民など行政機関以外の連携も重要であり、複数年度必要になるものと考えている。



R4.2.14「長野地域9市町村が共同で『2050ゼロカーボン宣言』」を発出

移住定住

各種の相談窓口は

ワンストップで対応



宮入（みやいり） 健誠（たけし） 議員

問　移住定住の施策は。

町長　全国的に少子高齢化および人口減少が進む中、将来にわたり活力ある持続可能なまちづくりを進めていくため、移住定住の促進は極めて重要な課題である。

　特に、若い世代や子育て世代など、これからの地域を担う方々に選ばれることは、地域コミュニティの維持や地域経済の活性化にもつながるものと考えている。

　具体的な施策として、「働く・暮らす体験事業」「移住定住促進補助金」及び「ＵＩＪターン就業・創業移住支援金事業」の他、空き家バンクの登録物件を対象に、「空き家バンク利用促進補助制度」。

　新婚生活をスタートする世帯を対象として、住宅取得費用や引っ越し費用等を支援する「結婚新生活支援事業」。

　移住に合わせて新規就農される方を対象として、家賃補助や農業用機械等の購入を助成する「新規就農者支援事業」など多様な事業を実施している。

　また、役場内の全課を移住・定住に関する相談窓口として位置づけ、コンパクトな庁舎の利点を活かした関係課連携によるワンストップでの対応に努めている。



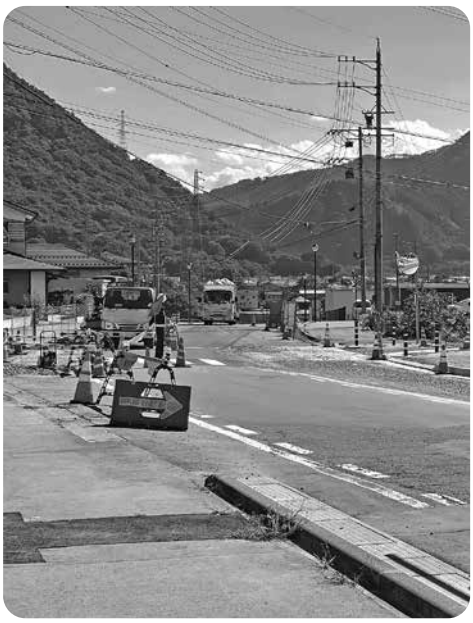
森林保全

森林管理の現状は

財源活用で整備を推進



玉川（たまがわ） 清史（きよふみ） 議員



問　森林環境譲与税・森林づくり県民税の活用状況は。

商工農林課長　森林環境譲与税を活用して、森林所有者に管理に係る意向調査や搬出間伐・倒木処理等に、県民税は枯損木した松を伐倒後、チップとして燃料へ再利用する事業に活用した。

問　坂城小学校の学有林活動の評価と課題は。

教育文化課長　自然と触れ合い体験した事は、その後の成長に役立ち、意義深い教育活動と捉えている。屋外環境特有の安全確保と野生鳥獣対策が課題である。

問　町植樹祭の財源はどこから出ているのか。

商工農林課長　継続事業とみなされ森林環境譲与税を活用できないため、一般財源で対応している。

町道A01号線拡幅工事

問　工事の進捗と今後の予定、植栽・照明の地域要望意見聴取の予定は。

町長　金井工区は宇佐八幡宮交差点付近、保地工区は金井振興センター入口交差点付近の事業を進めている。保地工区は継続して用地買収を進め、順次、改良工事に着手していく。植栽は過去には地元区に選定後決定された経緯もあるが、将来にわたる維持管理も考慮し、照明も含め原則町で検討していく。

受援体制

災害時の体制整備は

災害派遣経験を活かす



中村（なかむら） 忠靖（ただやす） 議員

問　大規模災害時の備えとして、受援計画の策定及び受け入れ体制整備は。

町長　国は過去の災害発生時の課題より、災害時受援体制に関するガイドラインや受援計画作成の手引きを示し、体制整備の促進を働きかけた。

町の受援計画は、県が策定した長野県広域受援計画と整合をとり、町地域防災計画の応援計画を補完する形で令和5年3月に策定した。

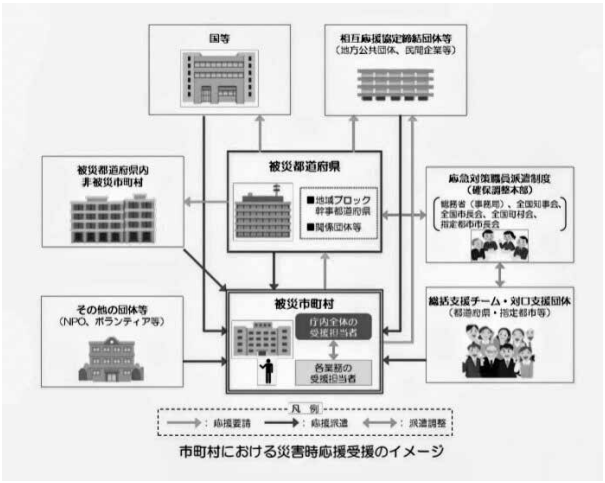
受入は、災害対策本部に応援・受援担当を置き、庁内外の総合調整を行う。また、災害被災地への町職員派遣による経験や情報等を共有し、確実に受援体制を機能させられるよう備えていく。

夏休み明けの子どもたちの支援について

問　夏休み明けの子どもたちの変化の把握は。

教育長　「夏休み明けは要注意」は大切だが、「要注意の時期を過ぎたから、ひと安心」ではなく、常に変化を敏感に感じ取り、支援をしていく必要がある。

日記、生活記録、保護者連絡帳や、夏休み明けの週に教職員との面談で子どもたちの声を直接聞くほか、学校生活アンケートを実施し、学校生活の様子や悩みを把握している。



「受援計画作成の手引き」内閣府（防災）より

新設アプリ

意見聴取の構築は

活用可能性を研究する



山城（やましろ） 峻一（しゅんいち） 議員

問　自治体統合アプリ「さかきコネクト」の導入の目的と、従来の情報発信・行政サービスの課題は。

町長　既存の情報伝達手段だけでは難しくなってきている課題があり、特にデジタル機器の利用に不慣れな方は、必要な情報を探すこと自体が負担となっている。必要な行政情報をより簡単に受け取ることができる仕組みとして、今年3月末に自治体統合アプリを導入した。

DX・GXの推進による地域課題の解決・魅力向上を具現化するための重要な施策としている。

問　現在の登録者数は。

企画政策課長　8月末では658名である。

問　行政デジタル化を進める一方で、スマートフォン等を持っていない方や操作に不慣れな方への対応は。

企画政策課長　デジタルとアナログを併用し、情報格差解消に努めていく。

問　将来的に「さかきコネクト」を活用し、町民からの意見や地域課題を受け付ける仕組みの構築は。

企画政策課長　直接的な対話を基本とし、さかきコネクトの定着と情報発信機能の一層の充実に力を注ぎ、活用可能性の研究を続けていく。



さかきコネクトのトップページ

脱炭素社会

ＺＥＢ化の方針は

ゼロカーボンにつなげる



水出（みずいで） 康成（こうせい） 議員

問　ＺＥＢ化への基本方針は。

町長　ＺＥＢ化を推進する上で初期投資の負担や、町内企業では、人材、情報、ノウハウの面で踏み出しにくいと考える。さかきテクノセンターや、新複合施設におけるＮｅａｒｌｙ ＺＥＢの知見や情報を、他の公共施設や町内企業にも広げていくことが重要である。関係機関と連携を図り、事例紹介や国・県の補助制度の周知などを通じて、地域全体での脱炭素社会の実現につなげていく。

地域防災について

問　発災時に命を守る啓発活動の取り組み状況は。

住民環境課長　各自主防災会や関係機関と連携し、防災知識の普及啓発や地域防災力の向上に取り組んでいく。

問　避難所開設及び運営、環境整備や、初期開設時の運用準備状況は。

福祉健康課長　避難所の運営は、地域住民や自主防災組織などの協力により、避難者が主体的にかかわる運用体制を構築することが必要である。訓練を通じて、避難所の初期開設手順や役割分担を確認し、環境整備や運営方法の改善を図り、避難者の安全確保に努めていく。



▲応急手当訓練

農業振興

生産原価低減の推進は

研究し推進していく



朝倉（あさくら）　国勝（くにかつ）　議員

問　7年度の水田面積に対する稲作栽培面積は。

商工農林課長　水田面積209・15haに対し稲作栽培面積は111・13haで、約53・1％といった状況である。

問　7年度の転作品目と面積は。

商工農林課長　麦が18・89ha、野菜類12・97ha、飼料用米が1・85haである。

問　離農者が多く既存組織の維持が難しい。対策の考えは。

町長　交付金制度を活用し、外部団体や業者等への委託も可能であるので、集落や組織に対し周知していく。

問　新技術の普及による生産原価低減の推進は。

商工農林課長　新しい栽培方法や新技術の導入などにより生産性向上や効率化が図られ、コストが削減される。今後も関係機関や関係団体と連携する中で、取り組みを研究し推進していく。



地域を支える米作り

有害鳥獣対策について

問　緊急銃猟（じゅうりょう）の対応に向けたマニュアルの作成状況は。

商工農林課長　環境省から示された緊急銃猟に伴うガイドラインに従い、現在、マニュアル作成を進めており、県や警察、猟友会などと協議を行っている。完成後は連携手順を確認するための机上（きじょう）訓練や実地訓練を行う。

研修報告

令和8年度長野県町村議会議長会議員研修会

7月13日（月）松本市キッセイ文化ホールにて、長野県町村議会議長会主催による議員研修会が開催されました。

研修会には、長野県内の町村議員等が参加し、❶「地方財政の課題と議会に求められる役割」では、地域社会課題に対し何を残し何を見直すのか、優先順位と意思決定が求められ選択する議会へ❷「ハラスメントの根絶に向けて」では、議会は社会のハラスメント防止を促進する立場であり、起きない議会環境をつくる事が必要であると聴講しました。



令和8年度 町村議会広報研修会

8月28日（金）東京LINE CUBE SHIBUYA（渋谷公会堂）にて、全国町村議会議長会主催による研修会が開催されました。

研修会では❶住民と議会をつなぐ広報デザイン術～ねらいと効果～❷議会広報誌のビフォーアフター～紙面を見直す、効果的なテクニック～❸議会広報の取り組み～「読まれる」議会だよりを目指して～を聴講し、紙面の要素を洗い出しながらまちの空気を編集する考え方について学びました。住民と議会をつなぐ議会報を目指していきたい。



委員会報告（閉会中の調査）

民間経営の直売所に学ぶ

総務産業常任委員会



総務産業常任委員会は、7月30日(木)に、創業32年目を迎える伊那市の産直市場「グリーンファーム」を視察した。

同施設は生産者２００名が登録し、年間約７０万人が訪れている。

助成金に頼らず自立経営を徹底し農産物の他、古物や骨董、伊那谷特産の昆虫食、動物の飼育展示、山羊のレンタルまで行う多角的な施設である。

最大の特徴は、一般的な規格外品の集荷に加え、生産者販売手数料は20％と高めであるが、生産者側は利益追求に走らない同施設の考えを理解している。冬場の原価販売や子育て支援、還元など地域貢献にも注力している。また、子どもでも生産者となることができ、社会体験を通じて将来の生産者育成に繋げている。



チラシやＳＮＳ等の広告宣伝は一切行わず、施設内に食堂や土産品を置かない。観光客に街へ足を運んでもらうことで、地域全体の経済循環を最優先している。

「農業で稼げるモデル」を目指し、行政、地域や生産者がいつまでも元気でいられる様に自立と地域還元に取り組む姿勢に深い感銘を受けた。

利益追求に捉われず、人との繋がりと地域全体の活性化を主軸に置く経営理念は、町の今後の農業振興や地域資源活用を考える上で重要な示唆となった。

（星　哲夫）

在宅避難への備えを学ぶ

社会文教常任委員会



充実した防災設備（安曇野市）

社会文教常任委員会は、８月５日(水)に安曇野市の防災広場と池田町の認定こども園「野あそび保育あいそめ」を視察した。

◆安曇野市では、災害時の在宅避難への備え拡充を目的に、防災用品購入補助金制度を実施。

対象者は市内に住所を有し、市税等の滞納がない世帯で、申請は同一世帯につき年度内一回を限定としている。

対象品目は、17品目の多岐にわたり、補助率及び上限額は、防災用品購入費の3分の1で上限額２万円までとしている。

また、市防災ラジオ購入補助金制度を設け、市民の日頃の備えとして活用できるよう普及を促している。

防災広場では、13の機能を持ち合わせ、災害時は支援拠点、復旧・復興時は応援部隊活動拠点、平常時は市民の憩いの場として利用されている。

◆「野あそび保育あいそめ」は、今年4月に民間保育園として開園。

統合により閉園した町保育施設活用のため、保護者の選択肢の拡充を目的に、町は民間事業者を誘致した。選考はプロポーザル方式で実施、公私連携体制をとっている。

移管後の保育園では、自然保育を中心に特色ある保育を実践している。

子育て世代から選ばれ、移住・定住にもつなげ地域の魅力を高めている。

今回の視察を参考に、防災意識の向上と、子育てへの取り組みを研究していきたい。

（宮入　健誠）



野あそび保育　あいそめ（池田町）

わがまち さんぽ 第5回

坂城町の身近な話題をお届けします。

＝ 村上氏ゆかりの伝説から ＝

千曲川の流れは、今も昔も変わらず静かに坂城の地を潤しています。その川辺には、戦国の世を今に伝える「笄（こうがい）の渡し」があります。ここは、かつて舟で対岸へ渡る大切な渡し場であり、村上氏ゆかりの悲しい伝説が残る場所です。



旧木橋（千曲建設事務所ホームページより）

天文22年（1553年）、葛尾城が落城した折、村上義清公の奥方は追手を逃れ、この渡しから千曲川を渡ったと伝えられています。危険を顧みず舟を出した船頭への感謝として、奥方は髪に挿していた「笄」を贈りました。その出来事から、この渡しは「笄の渡し」と呼ばれるようになったそうです。

橋が架かり、人々が舟を利用することはなくなりましたが、歴史や伝説は地域の風景の中に今も息づいています。何気なく渡る橋のたもとにも、先人たちの勇気や思いやりが刻まれていることに気づかされます。

晩秋の風に揺れる千曲川の水面を眺めながら、この地に生きた人々への思いを巡らせるひと時も、坂城ならではの豊かな時間ではないでしょうか。歴史は遠い昔の出来事ではなく、私たちの暮らしの足元に静かに流れ続けています。

（中村（なかむら）　忠靖（ただやす））



苅屋原からの笄橋（千曲建設事務所ホームページより）

※ここでいう「笄＝こうがい」とは、本来は髪をかき整えたり結い留めたりするための棒状の髪飾りで、のちに日本刀の鞘（さや）に差す装飾金具として用いられた道具のことをさしています。

日和

九月も半ばに入ると徐々に稲の色が黄金色に染まり、稲穂はこうべをたれ、稲刈・脱穀が近いことを感じる頃となった。

今年の我が家の米作りを振り返れば、三月には春の訪れとともに、田んぼの耕運が始まった。四月には、苗づくりのすじ蒔（ま）きを行い、五月には二度目の耕運、肥料撒き、代掻き、田植と矢継ぎ早に農作業をこなす。田植が終わると、除草剤を蒔いて一段落。ここからが田んぼとの毎日の語らいが始まる。七月後半には、土用干しを約一週間行い、九月の水落しに備える。その後、再び高温障害への対応を含めた水の管理が日課となる。九月に入り、一斉の水落しを行い、稲刈・脱穀に備える。我が家の年中行事の稲刈は、九月下旬に家族全員集合し、世間話をしながら今は少なくなったはぜかけを実施している。一年の集大成として、十月上旬には、水分の基準値を満たしていればいよいよ脱穀となる。

七ヶ月に及ぶ長かった今年の米作りを終えて、新米を食すると、来年も頑張ろうと思う。春までの半年間疲労した体を休めよう。

（宮入（みやいり）　健誠（たけし））

◎発行／長野県埴科郡坂城町議会
責任者／中嶋　登　編集／広報発行対策特別委員会
TEL（代表）(0268)82-3111（直通）(0268)75-6213　FAX(0268)82-8307
E-mail/gikai@town.sakaki.lg.jp
◎印刷／株式会社シーデンス

発行責任者　議　長　中嶋　登
広報発行対策特別委員会
委　員　長　大日向進也
副委員長　塚田　舞
委　員　星　哲夫
中村　忠靖
宮入　健誠